


山行報告書

山行報告者：簗島

山域・山名：北海道 駒ヶ岳 (1131m)		(北海道七飯町)
入山日又は期間：令和3年6月26日(土)日帰り		
プラン担当者 正： 副：		
参加者	L：簗島 佐藤な 鈴木 男1名、女2名、計3名	
天候： 晴れ		
6月26日 (土)	函館駅 7:19—函館本線—8:11 大沼公園駅 8:20—タクシー—8:40 六合目 駐車場 8:50…馬の背 9:50 馬の背を散策 馬の背 11:20…六合目駐車場 12:00 タクシーで大沼公園駅へ下山後、大沼公園を散策	
装備等	個人装備：ヘッドランプ、雨具、防寒衣、コンパス、地図、非常食、ツェルト、水 個人食：昼食、行動食	
感想&要注意事項	<p>駒ヶ岳を初めて見たのは、昨年秋に所用で北海道新幹線から乗り継いで札幌へ向かう途中、函館本線からだった。山容が独特だったのでとても印象に残った。</p> <p>富士山型の大きな成層火山だった駒ヶ岳は、何度も噴火を繰り返し今の形になったそうだ。浅間山と同じ活火山で、入山規制がしかれていて、馬の背まで入山できる。</p> <p>写真に見える頂きは、最高峰の剣ヶ峰で、立ち入り禁止となっているが、私たちが登ったこの日も、何組かの恐れを知らぬハイカー達が登っていった。</p> <p>とは言え、登山口駐車場から約1時間で、素晴らしい景色を望むことができ、親子連れなどハイキングを楽しむ地元市民がたくさんいた。</p> <p>馬の背南側からは大沼公園を眼下に望み、遠く函館山まで見えた。馬の背北側の稜線からは太平洋も見えた。</p> <p>下山後、大沼公園のレンタサイクルで湖畔を一周し、下からの駒ヶ岳の姿を再確認した。</p> <p>梅雨を知らぬ北海道で、晴天に恵まれ、素晴らしい一日を過ごすことができ良かった。</p>	